

州

名前

問1 サトウキビやトウモロコシなどの植物資源を原料として製造される燃料で、ブラジルなどで自動車用燃料として広く普及しているものの名称として正しいものはどれですか。 (2019年 群馬県公立入試 類似)

- [illegible]

問2 南アメリカのブラジルでは、ある農作物を原料としたバイオ燃料の普及が世界的に見ても進んでいます。この農作物と、その普及の背景にある目的について述べたものとして、最も適切な記述を選びなさい。 (2021年 奈良県公立入試 類似)

1. カカオ豆を原料とし、アマゾンの森林破壊を防ぐための代替エネルギーとして開発が進められている。
2. さとうきびを原料とし、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を抑制する目的で利用されている。
3. 小麦を原料とし、食料自給率の向上と同時にバイオ燃料としての輸出を拡大させている。
4. 米を原料とし、化学燃料の価格高騰に対応するための安価なエネルギー源として普及している。

問3 「日本ブラジル交流年」および「日本人ブラジル移住100周年」を記念して発行された貨幣の裏面には、ある農産物の枝と実がデザインされています。この農産物はブラジルが世界最大の生産量を誇り、かつて多くの日本人移住者がその栽培に従事したことで知られていますが、その農産物として正しいものはどれですか。（2014年 沖縄県公立入試 類似）

1. さとうきび 2. 茶 3. コーヒー豆 4. 綿花

問4 南アメリカの大国であるブラジルの人口構成について、先住民や日系人と並んで大きな割合を占める「メスチソ」と呼ばれる人々が形成された歴史的な背景として、最も適切な説明はどれですか。(2020年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|-------------------------------------|
| 1. 労働力不足を補うために、アフリカから連れてこられた人々と先住民が交わったこと | 2. 植民地支配から独立する際、本国から派遣された軍人と現地の特権階級が交わったこと | 3. 19世紀以降にコーヒー農園の労働者としてアジアから渡った人々と先住民が交わったこと | 4. 大航海時代以降、ヨーロッパから入植した人々と先住民が交わったこと |
|---|--|--|-------------------------------------|

問5 オセアニア地域に位置するオーストラリアにおいて、イギリス植民地時代の面影を残しながらも、近年アジアからの移民が急増し、社会の多様性が進んでいる背景を説明した文として、適切なものを選びなさい。(2026年 埼玉県公立入試 類似)

1. イギリスとの軍事的な協力関係を維持するために、英語を公用語とする人々に限定して移民を認めてきたため。
2. 広大な国土を開発するために、周辺諸国との関わりを断ち、自国の伝統文化のみを保護する政策に切り替えたため。
3. 国内の先住民との対立を解消するために、ヨーロッパ以外からの移民を禁止する白豪主義を徹底したため。
4. アジア諸国との経済的結びつきを重視し、異なる文化を持つ人々が対等な関係で共存する多文化社会へと転換したため。

問6 世界の農産物生産割合（2023年）をまとめた統計において、大豆の生産シェアが世界の51.7%と過半数を占めている地域はどこですか。この地域では、ブラジルやアルゼンチンを中心に、世界的な需要に応えるため大規模な農地開発が進められています。（2026年 福岡県公立入試 類似）

1. アジア州 2. 南アメリカ州 3. 北アメリカ州 4. アフリカ州

問7 全陸地面積のうち、乾燥帯の占める割合が約57.2%と半分を超えており、温帯が約25.9%、熱帯が約16.9%という気候構成になっている大陸はどれですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)

1. ユーラシア大陸 2. オーストラリア大陸 3. アフリカ大陸 4. 南アメリカ大陸

問8 オーストラリアの輸出相手国の変遷について、1960年にはかつての宗主国であるイギリスが輸出額の26.4%を占めて第1位でしたが、2010年には中国が25.3%で第1位となり、次いで日本、韓国が上位に入るようになりました。このように、オーストラリアの主要な貿易相手がヨーロッパからアジア州の国々へと変化した背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. ヨーロッパで結成された欧州連合 (EU) にオーストラリアが加盟し、域内での自由貿易を推進したため | 2. 地理的に近いアジア諸国の経済発展に伴い、資源や農産物の需要が高まったことで、地域的な結びつきを強めたため。 | 3. 白豪主義をより厳格に運用することで、アジア諸国との排他的な経済圏を構築しようとしたため。 | 4. イギリスとの植民地時代からの歴史的なつながりを重視し、イギリス連邦内での輸出額を大幅に増やしたため。 |
|--|--|---|---|

問9 オーストラリアの歴史や文化に関する記述として、先住民族であるアボリジニーの背景をふまえて最も適切なものを選びなさい。(2018年
茨城県公立入試 類似)

1. かつて採用されていた白豪主義という政策によって、アジア系住民とともに優先的に保護され、国政の中心を担ってきた。
2. イギリス人の入植以降、土地を奪われるなどの迫害を受けた歴史があるが、現在は多文化主義のもとで権利の回復が進められている。
3. 狩猟を中心とした生活を送る北米の先住民であり、雪で作った家であるイグルーに住む文化を現在もすべての部族が維持している。
4. ニュージーランドを主な居住地としており、ラグビーの試合前に行う伝統の踊り「ハカ」を継承していることで知られている。

問10 ブラジルの農業の現状と特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)

1. アマゾン川流域の熱帯雨林において、現在も天然ゴムの採取が国家の輸出額の大部分を占めている。
2. 西アフリカ諸国と同様にカカオの栽培を主軸としており、小規模な農家による手作業が中心である。
3. 肉牛の肥育効率を高めるため、フィードロットと呼ばれる施設に牛を集めて穀物を与える方式が主流である。
4. 広大な土地と大型機械を利用した大豆などの生産が盛んで、世界有数の輸出大国となっている。

問11 南アメリカ大陸の自然環境と文化について述べた文として、ブラジルの特徴を正しく説明しているものはどれか、次の中から選びなさい。

(2019年 三重県公立入試 類似)

1. 領土の大部分が南回歸線より南の温帯に位置しており、公用語としてスペイン語が広く使われている。
2. 領土の北端付近を赤道が通過しており、周囲の多くの国とは異なりポルトガル語が公用語となっている。
3. 南回歸線が国土の北端を通過しており、インカ帝国の遺跡が多く残るスペイン語圏の国である。
4. 赤道が国土の中央を東西に貫いており、かつてイギリスの植民地であったため英語が公用語となっている。

問12 再生可能エネルギーの一つであり、動植物などの生物資源を原料とするエネルギー源を何といいますか。ブラジルにおいて、サトウキビの絞りかすなどを利用した発電や燃料としての活用が盛んに行われているものを、次のうちから選びなさい。(2022年 山口県公立入試 類似)

1. 風力発電 2. バイオマス発電 3. 太陽光発電 4. 地熱発電

答え合わせ・解説

問1	答え 4 バイオエタノール	植物資源（バイオマス）を原料とした燃料はバイオ燃料と呼ばれ、その代表的なものがバイオエタノールです。サトウキビの生産が世界的に盛んなブラジルでは、1970年代の石油危機をきっかけに、石油への依存を減らすためにサトウキビを活用した燃料開発が進められました。現在では多くの自動車でガソリンに混ぜたり、あるいはそのまま燃料として利用したりすることが一般的になっています。
問2	答え 2 さとうきびを原料とし、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を抑制する目的で利用されている。	ブラジルでは、さとうきびから製造されるバイオエタノールが自動車燃料として広く普及しています。植物は成長過程で光合成により二酸化炭素を吸収するため、燃料として燃焼させても大気中の二酸化炭素の総量に影響を与えない「カーボンニュートラル」という考え方にに基づき、地球温暖化対策の有効な手段とされています。
問3	答え 3 コーヒー豆	ブラジルは広大な国土と気候条件を活かし、世界最大のコーヒー豆生産国としての地位を築いています。明治時代以降、日本（特に沖縄県など）から多くの人々がブラジルへ移住しましたが、その多くがサンパウロ州などのコーヒー農園で「コロノ」と呼ばれる契約労働者として働きました。この歴史的なつながりを象徴するため、移住100周年記念貨幣の意匠にもコーヒーが採用されています。
問4	答え 4 大航海時代以降、ヨーロッパから入植した人々と先住民が交わったこと	南アメリカでは、ヨーロッパによる植民地支配の過程で、支配層となったヨーロッパ系の移民と、もともと居住していた先住民との間に混血（メスチソ）が生まれました。ブラジルなどの国々では、こうした多様な背景を持つ人々が共生しており、非常に複雑な人口構成となっているのが特徴です。
問5	答え 4 アジア諸国との経済的結びつきを重視し、異なる文化を持つ人々が対等な関係で共存する多文化社会へと転換したため。	オーストラリアは地理的にアジアに近く、石炭や鉄鉱石などの資源輸出を通じてアジア諸国との経済的なつながりが非常に強くなっています。こうした背景から、従来のイギリス中心の考え方を改め、アジアからの移民を労働力や社会の構成員として受け入れるようになりました。その結果、互いの文化を尊重し合う「多文化社会」の考え方が定着しました。
問6	答え 2 南アメリカ州	南アメリカ州、特にブラジルやアルゼンチンでは大豆の生産が非常に盛んであり、世界全体の生産量の半分以上を占めています。一方、カカオ豆のシェアが6割を超えるのはアフリカ州であり、統計資料を読み解く際は、作物ごとの主要な生産地域を区別して理解することが重要です。
問7	答え 2 オーストラリア大陸	オーストラリア大陸は、大陸の中央部から西部の広大な範囲に砂漠やステップが広がっており、六大陸の中で最も乾燥帯の面積割合が高いという特徴があります。アフリカ大陸や南アメリカ大陸は熱帯の割合が非常に高く、この構成比とは異なります。
問8	答え 2 地理的に近いアジア諸国の経済発展に伴い、資源や農産物の需要が高まったことで、地域的な結びつきを強めたため。	オーストラリアはかつてイギリスの植民地であった歴史的背景から、以前はイギリスを最大の貿易相手としていました。しかし、イギリスの欧州共同体（EC）への加盟による関係の変化や、日本、中国、韓国といった地理的に近いアジア諸国の経済成長による資源・食料需要の増大を受け、貿易の軸足をアジアへと移しました。これに伴い、人種差別的な「白豪主義」を撤廃し、多文化主義へと政策を転換してアジアの一員としての交流を深めるようになりました。
問9	答え 2 イギリス人の入植以降、土地を奪われるなどの迫害を受けた歴史があるが、現在は多文化主義のもとで権利の回復が進められている。	オーストラリアはイギリスの植民地となった後、白人以外の移民を制限する「白豪主義」を長らくとっており、先住民のアボリジニーも厳しい差別の対象となっていました。しかし、1970年代以降は多様な民族の文化を尊重する「多文化主義」へと政策を転換し、アボリジニーの聖地であるウルル（エアーズロック）の返還や、過去の政策に対する政府の謝罪など、権利回復と共生への取り組みが行われています。
問10	答え 4 広大な土地と大型機械を利用した大豆などの生産が盛んで、世界有数の輸出大国となっている。	ブラジルは広大な国土と平坦な地形を活かし、内陸部の開発を通じて大規模な機械化農業を確立しました。これにより、大豆やトウモロコシ、牛肉などの世界的な供給源となっています。フィードロットは主にアメリカ合衆国やオーストラリアで見られる手法であり、天然ゴムは歴史的には重要でしたが現在は東南アジアが主産地です。また、カカオの主産地はコートジボワールなどのギニア湾沿岸地域です。
問11	答え 2 領土の北端付近を赤道が通過しており、周囲の多くの国とは異なりポルトガル語が公用語となっている。	ブラジルは赤道が北部を通過する熱帯を中心とした国であり、南アメリカで唯一ポルトガル語を公用語とする国です。アルゼンチンなどの周辺諸国は主にスペイン語を使用していますが、これは植民地時代の支配国の違いに由来します。位置関係についても、緯線による気候区分や歴史的背景とあわせて理解しておく必要があります。
問12	答え 2 バイオマス発電	動植物などの生物資源（バイオマス）を燃焼させたり、ガス化したりして電気を得る仕組みをバイオマス発電と呼びます。ブラジルは世界有数のサトウキビ生産国という背景を活かし、砂糖を製造した後の絞りかすなどをエネルギー源として有効活用しています。これは石油などの化石燃料に頼らない、持続可能なエネルギー利用の一環として地理の学習において非常に重要な項目です。